



SEALANE®

GUARANTEE & INSTRUCTIONS

修理の問い合わせ

株式会社 **サン・フレイム**

〒111-0041

東京都台東区元浅草2丁目11番1号

時計サービスセンター TEL 03 - 3842 - 3844

A.M.10:00～12:00

P.M. 1:00～5:00 土・日・祝は休日

当社製品をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。

ご使用に際し《保証規定》と《注意事項》を良くお読みになり、正しくお使いください。お読みになった後は、必要になったときいつでもご覧になれるよう必ず保管してください。
※万一、本製品使用により生じた、財産・権利・利益等に関して、当事者または第三者からのいかなる請求について、弊社では一切責任を負えませんので、予めご了承ください。
※保証書に記載されたお客様の個人情報（氏名・住所）は、修理品の管理・配送などの修理業務目的のみに使用いたします。

《 保 証 規 定 》

通常のご使用範囲内で時計本体（ムーブメント・ケース）において、自然故障した場合の保証期間は、お買い上げ日より1年間となります。※日本国内でのみ有効です。
保証期間が過ぎた場合の修理代金は、修理内容によって料金が変わりますので当社時計サービスセンターにお問い合わせください。修理代金のお支払いは郵便定額小為替か普通為替およびお振り込みでお願いしております。

【保証対象外の内容について】

- ①保証書が添付されていない場合。
- ②保証書にお買い上げ年月日、販売店名の記入捺印または、それに代わる保証開始時期を証明するもの（販売証明書やお買い上げレシートなど）が無い場合。
- ③電池交換 **電池寿命と交換について** の項目をご確認ください。
- ④消耗・摩耗・汚損・破損・変色（メッキ・ペイントのはがれ）などしたケース・バンドの交換。
- ⑤落下などの衝撃によるガラスの破損やキズ。
- ⑥時計本体以外のパーツ紛失の取り付け。
- ⑦時計内部に手が入えられていた場合。
- ⑧非防水時計や性能範囲を超える状態で使用で内部に水が入っていた場合。
- ⑨必要以上に酷使されていた場合。
- ⑩その他当社の合理的判断に基づき有料と認められた場合。

【修理品の送付について】

修理品を送付いただく際は、本体にキズが付かない様やわらかい布や紙などで保護し、当社時計サービスセンター宛に郵便にてお送りください。
修理のために時計を送付される場合、送料はお客様のご負担になります。また、修理品を送る際には送付と同額の返信用の切手を同封してください。

電池寿命と交換について

※お買い上げいただきました時計は新しい正常な電池を組み込んだ後、規格寿命の期間作動いたします。お買い上げ時に組み込まれている電池は、機能や性能を確認するために、工場生産時に新しい正常な電池を組み込んでおり、お買い上げいただくまでの期間も作動し続けているため、ある程度は電池が消耗しております。このため、お買い上げ後、規格寿命に満たない内に容量が切れることがありますのでご了承ください。なお、保証期間内であっても電池交換は有料となります。

※電池交換はお早めに行ってください。そのまま放置すると故障の原因となります。

※裏蓋をご自分で開けると故障の原因になります。電池交換はお近くの時計店又は当社時計サービスセンターで行うことをお勧めいたします。

※小型銀電池お取り扱い上の注意 本製品に使用されている小型銀電池を保管する際は、乳幼児の手の届かない安全な所へ置いてください。万一、飲み込んだような場合には直ちに病院や医師にご相談ください。

《 注 意 事 項 》

△【電池取り扱いの注意】

- ◎誤飲の危険がありますので幼児の手の届かない所に置いてください。万一、飲み込んだような場合には直ちに病院や医師にご相談ください。
- ◎電池寿命が切れた場合は当社時計サービスセンター又はお近くの時計販売店で電池交換を行ってください。
- ◎電池は必ず指定電池をご使用ください。
- ◎寿命の切れた電池を長期間入れたまま放置しますと、漏液により内部機械部品が損傷する場合がありますのでご注意ください。

△【携帯時の注意】

- ◎時計携帯時に乳幼児を抱くときなどは、あらかじめ時計をはずすなどしてけがや事故防止に充分ご注意ください。
- ◎激しい運動・作業などを行うときは、ご自身や第三者へのけがや事故防止に充分ご注意ください。
- ◎高温の場所では本体の故障や、火傷の恐れがあるため絶対に使用しないでください。
- ◎時計の着脱の際、バンドの留め具の構造によっては爪を傷つける恐れがありますのでご注意ください。
- ◎時計は常に清潔な状態でご使用ください。時計は携帯時直接肌に接しています。汚れたままご使用されますと、体質上皮膚の弱い方は、かゆみやかぶれが生じる場合があります。かぶれの原因として考えられるのは、金属、皮革アレルギーまたは、時計本体・バンドに発生したサビ、汚れ、汗などです。皮膚の弱い方は使用される前、予めご注意ください。異常を感じましたら、ただちに使用をやめて医師の診断を受けてください。
- ◎製品の塗装やメッキは「こすれ」によっても「色落ち」します。又プラスチックの素材色もご使用、保管の状況により「変色」します。汗やゴミなどの汚れにより衣類の袖口等を汚すこともありますので、充分に注意してご使用ください。

△【使用環境/状況・保管の注意】

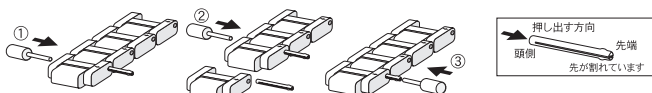
- ◎分解しないでください。故障・ケガの原因となります。◎床面に落下するなど、強い衝撃は故障の原因になりますのでご注意ください。
- ◎高温や低温など、極端に温度差のあるところでは機能が低下したり、停止したりすることがあります。また、常温（5℃～35℃）から外れた温度下で長時間放置しますと電池が漏液したり電池寿命が短くなったりすることがありますのでご注意ください。
- ◎磁石・磁気類（携帯電話・磁気健康器具・バッグの留め金などその他）に近づけると故障や機能精度低下の原因となりますのでご注意ください。
- ◎クォーツウォッチに内蔵されている部品は静電気に弱い性質です。強い静電気を受けると機能精度が低下する場合がありますのでご注意ください。
- ◎化学薬品類などに近づいたり、ガスの中でのご使用は避けてください。水銀またはシンナー・アルコールなどの各種溶剤及びそれらを含有するものが付着しますと、変色・溶解・ひび割れ・変質の恐れがあります。
- ◎長期間ご使用にならないときは、汗・汚れ・水分などをよくふき取り、高温・低温・多湿の場所を避けて保管してください。また、寿命の切れた電池を長期間入れたまま放置しますと、漏液により内部機械部品が損傷する場合がありますのでご注意ください。
- ◎お買い上げ時にガラス・裏蓋・バンド・金具などに保護シールが付いていることがありますので、必ずはがしてお使いください。保護シールが貼られたままご使用になりますと保護シールの裏やすき間に汚れが固着してサビが発生する場合があります。

△【時計のお手入れ方法】

- ◎ケース・風防の汚れや汗などは柔らかい布で拭き取ってください。◎バンドは乾いた布で汚れを取ってください。◎プラスチックやゴムバンドは湿った布で汚れを取ってください。（洗剤やアルコールなどは変色・変質の恐れがありますのでご使用しないでください。）
- ◎海水や潮風は特に、塩分がサビ、腐食の原因となりますので、なるべく真水でよく塩分を洗い落とし、水気を拭き取ってください。（温水の場合は防水用部品”Oリング”などの傷みを早める恐れがありますのでご注意ください。）

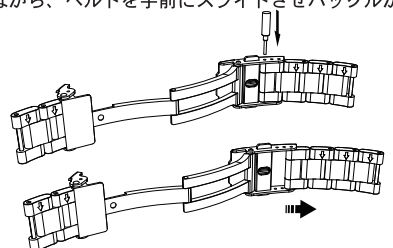
メタルベルトのサイズ調整

- ① 先端の細い金具を使い割ピンを外へ押し出します。（矢印の方向へ押し出してください）
- ② 手順①を繰り返すと1つの環が取り外せます。
- ③ ベルトが適切な長さになるまで必要な数の環を取り外します。その後取り外した割ピンを再びはめてベルトを固定します。（手順①および③を行う際、割ピンは必ず頭部から押し出してください。先端側に必要以上の力をかけると壊れる恐れがあります。）



バックル部分の微調整

- ① 先端の細い金具を使いベルト側のバネ棒を押さえます。
- ② バネ棒が飛び出さないよう指でカバーしながら、ベルトを手前にスライドさせバックルから外します。
- ③ ベルトを適切な位置で固定してください。
※ピンが変形したりベルトのコマから出たままの状態での使用はおやめください。
※バネ棒が飛んで紛失したり、顔や目を傷つけないように十分にご注意ください。
※サイズ調整は、お買い上げ店舗にご依頼ください。



取扱説明書

★ご使用上の注意事項

- 衝撃：軽スポーティブによる影響はありません。
※たたり、落としたり、強くぶつけたりしないでください。
- 磁気：磁石には近づけないでください。
- 温度：この時計は常温（5℃～35℃）で調整されています
ので、極端な温度条件での使用は避けてください。
- 防水性：防水表示のある時計は右記の内容でご使用ください。

	一時的にかかる水滴 (洗顔、雨等)	水仕事	水 泳	ダイビング
非防水	×	×	×	×
3BAR 日常生活防水	○	○	×	×
5BAR 日常生活強化防水	○	○	×	×
10BAR 日常強化防水	○	○	×	×
20BAR スポーツ防水	○	○	△	×

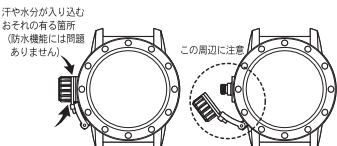
△（リュウズガード付きタイプのご注意）

リュウズガード付きタイプは、ネジ式のリュウズガードの中にリュウズがあります。リュウズ操作を行う際はリュウズガードを回し、外して操作を行ってください。リュウズガードを戻す場合は必ずリュウズを押し込み、秒針が動いていることを確認してからリュウズガードを戻してください。

△（リュウズガードメンテナンスのお願い）

本製品はステンレススチール鋼を使用しておりますが、リュウズガード周辺は構造上、汗や水分がしみ込む場合があり、素材の特性上そのままにしておくと赤サビが発生します。リュウズガード周辺は定期的に開けて乾いた布等で清潔に保つようお願いいたします。

※同じ機能であれば、デザインや位置がイラストと異なっても同じように注意してください。



△（ネジ込み式リュウズのご注意—SER01 02 03 04 シリーズ 他）

防水性を高めるためにネジ込み式になっているリュウズを使用しているモデルがあります。

◎外すとき・・・リュウズを反時計回りに回します。

◎閉めるとき・・・リュウズを時計本体に押し付けながら、時計回りに回らなくなるまで回します。

※時刻合わせ等をした後は、必ず完全に閉めてください。閉めていない場合は防水性があります。

※これらの場合も上記モデル同様に定期的なメンテナンスをお願いいたします。

△（リュウズやボタン操作のご注意）

※水中、または水に濡れた状態でのリュウズやボタン操作は、時計内部に水が入り故障の原因となります。手、リュウズやボタン部分が濡れていない事を充分に確認してからリュウズやボタン操作を行ってください。

日付表示タイプの操作方法

対象モデル SE32 シリーズ /SEJ020/SEJ021シリーズ /SER01/SER02 シリーズ

日付・曜日表示タイプの操作方法

マルチハンス（多針表示）タイプの操作方法

対象モデル SE43 シリーズ /SE51 シリーズ

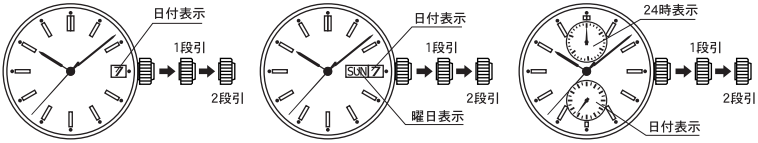
△（カレンダー付きタイプのご注意）

※注1 午後8時～午前6時まで、早送りでカレンダー（日付・曜日）を合わせてください。
（この時間帯に合わせようとしても、日付・曜日がかわらないことがアムーブメントの故障につながります。）
※日付は31日制になっていますので、2月、4月、6月、9月、11月の月末には修正が必要です。

日付・曜日・時刻の合わせ方

日付(曜日)を合わせる準備のため、リュウズを2段引いた状態で時刻を進め続けます。時・分針の針位置を6時から8時の間にしてください。この時間帯に合わせようとしても、日付・曜日がかわらないことがアムーブメントの故障につながります。リュウズを1段引いた状態で昨日の日付(曜日)に早送りで合わせてください。（日付と反対に回すと曜日が合わせられます）リュウズを元の位置に戻してください。秒針が12時の位置にきたらリュウズを2段引いた状態で秒針を止め今日の日付(曜日)、現在時刻になるまで進めます。

※午前・午後を間違えないようにしてください。 ※同じ機能であれば、デザインがイラストと異なっても操作は同じです。



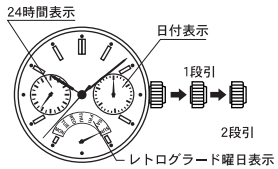
レトログランドマルチ(多針)タイプの操作方法 A

対象モデル SE31 シリーズ /SE45 シリーズ

日付・曜日・時刻の合わせ方

日付(曜日)を合わせる準備のため、リュウズを2段引いた状態で時刻を進め続けます。時・分針の針位置を6時から8時の間にしてください。この時は午前午後の区別は必要ありません。リュウズを元の位置に戻してください。リュウズを1段引いた状態で昨日の日付(曜日)に早送りで合わせてください。（日付と反対に回すと曜日が合わせられます）リュウズを元の位置に戻してください。秒針が12時の位置にきたらリュウズを2段引いた状態で秒針を止め今日の日付(曜日)現在時刻になるまで進めます。

※午前・午後を間違えないようにしてください。 ※同じ機能であれば、デザインがイラストと異なっても操作は同じです。

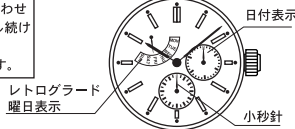


レトログランドマルチ(多針)タイプの操作方法 B

対象モデル SE14 シリーズ SEJ022 シリーズ

レトログランド曜日表示が2時もしくは10時位置にあるモデルの曜日合わせは時刻合わせと連動しています。正しい曜日になるまでリュウズを回し続けてください。その他の操作は上記モデルと同じです。

※同じ機能であれば、デザインがイラストと異なっても操作は同じです。



クロノグラフタイプの操作方法

●クロノグラフとはストップウォッチ機能の付いた時計です。モデルにより機能が異なりますのでお手元の時計の機能と右上の図を照らし合わせてご参照ください。

時刻の合わせ方：日付・曜日・時刻の合わせ方をご覧ください

〈クロノグラフ針0位置修正について〉

修正はクロノグラフをリセット状態にし、リュウズを引いて行います。通常使用の場合にはクロノグラフ針は、ずれませんがクロノグラフモードの切り替えの時に針がずれる場合があります。クロノグラフ針がずれた場合は下記の要領で修正することが出来ます。

1/5秒クロノグラフ YM12 /YM14

Aボタン2秒以上長押し：クロノグラフ分針が1周します。→ Bボタン1回押し：クロノグラフ分針が1ステップします。
Aボタン2秒以上長押し：クロノグラフ1/5秒針が1周します。→ Bボタン1回押し：クロノグラフ1/5秒針が1ステップします。
※各ボタンを押し続けると連続運針します。

1/20秒クロノグラフ YM92

Aボタン2秒以上長押し：クロノグラフ1/20秒針が1周します。→ Bボタン1回押し：クロノグラフ1/20秒針が1ステップします。
Aボタン2秒以上長押し：クロノグラフ分針が1周します。→ Bボタン1回押し：クロノグラフ分針が1ステップします。
Aボタン2秒以上長押し：クロノグラフ時針が1周します。→ Bボタン1回押し：クロノグラフ時針が1ステップします。
※各ボタンを押し続けると連続運針します。

1/1秒クロノグラフ OS11

Aボタン1回押し：クロノグラフ分針が1ステップします。（クロノグラフ分針が運動）※Aボタンを押し続けると連続運針します。
Bボタン押すとクロノグラフ分針がリセットします。

1/20秒クロノグラフ OS60

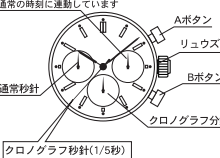
Aボタン1回押し：クロノグラフ分針が1ステップします。（クロノグラフ分針が運動）
Bボタン1回押し：クロノグラフ1/20秒針が1ステップします。（クロノグラフ分針もリセットします。）
※各ボタンを押し続けると連続運針します。

SE56(VK67)シリーズ/SE58(VK63)シリーズのクロノグラフ針はずれません。
（ずれた場合は故障です。弊社時計サービスセンターへお問い合わせください。）

1/5秒クロノグラフA YM12

対象モデル SE48シリーズ【60分間計測可】

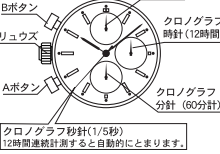
通常の時刻に連動しています



1/5秒クロノグラフC VK67

対象モデル SE56シリーズ【12時間計測可】

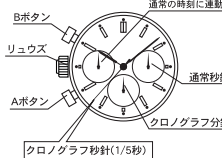
通常の時刻に連動しています



1/5秒クロノグラフB YM14

対象モデル SE47/SE55シリーズ【60分間計測可】

通常の時刻に連動しています



1/5秒クロノグラフD VK63

対象モデル SE58シリーズ【60分間計測可】

通常の時刻に連動しています

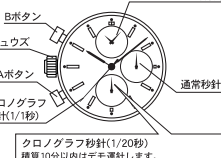


※SE58シリーズには24時間計は装備しておりません。

1/20秒クロノグラフ YM92

対象モデル SE44シリーズ【12時間計測可】

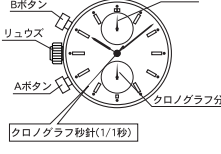
通常の時刻に連動しています



1/1秒クロノグラフ OS11

対象モデル SE06シリーズ【60分間計測可】

通常の時刻に連動しています



1/20秒クロノグラフ OS60

対象モデル SE28シリーズ【12時間計測可】

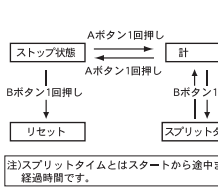
秒針及びクロノグラフ針1/20秒
積算30秒以内はデモ運針します。
30秒以降は、計測を止めたときのみ表示します。



※クロノグラフ計測をしない時、Bボタンを押すたびに通常の秒針とクロノグラフモードの切り替えをします。

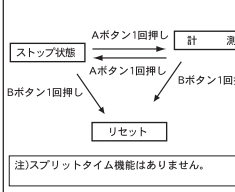
【クロノグラフ計測について】

対象モデル SE44/SE47/SE48/SE55



【クロノグラフ計測について】

対象モデル SE06/SE28/SE56/SE58



機械式時計（自動巻き・手巻き）の操作について N435

対象モデル SE53 シリーズ /SE54 シリーズ

- ◎機械式時計の場合、構造上クォーツ時計に比べ精度の差があります。精度に関する調整修理は不可能な場合があります。（平均日差 ±40秒～±60秒）
- ◎調整修理対象の目安は進んだり遅れたり安定しない状態が続いた場合はご依頼ください。
- ◎日付、時刻の合わせ方は左記の日付・曜日・時刻の合わせ方をご覧になり合わせてからお使いください。
（※注1 カレンダー付きタイプのご注意）も合わせて参照してください。
- ◎機械式の時計は繊細な部品(歯車、ゼンマイ)の精巧な組合せにより作動し、その精度を維持しています。日差±40～60秒程度ですが、使用される方の生活環境によっても精度に影響を及ぼします。通常使用下において精度にバラつきがある場合は、お買い上げ店もしくは当社時計サービスセンターへ修理をご依頼ください。（微調整はできない場合もあります。）
- ◎時刻調整はリュウズを引いて時計回りに時刻調整します。逆回転での時刻調整は避けてください。

太陽光発電(ソーラー)機能付き時計 VS42

対象モデル SER01 シリーズ

- ◎太陽光発電(ソーラー)時計は、ソーラーパネルで光を受けて発電した電力を、内蔵充電部品に充電する機能があります。
- ◎最大充電した時は約6ヶ月間作動します。内蔵充電部品は充電/電気量消費を繰り返す事や経年変化によって性能が劣化します。十分な充電量が得られなくなった時は部品交換等の修理が必要です。
- 《 最大充電約6ヶ月に要する充電時間の目安は下記の通りです。》

☀ 蛍光灯	・・・	3,000ルクス	： 47 時間
☀ 自然光(曇天時)	・・・	10,000ルクス	： 13 時間
☀ 自然光(夏期太陽光直接照射)	・・・	100,000ルクス	： 5時間

※ お買い上げいただいた時計は発電しにくい環境で保管されると充電容量は時計動作に電圧不十分となります。ご使用前に上記の充電時間の目安を参考にして必要十分な充電を行ってからお使いいただく事をお薦めします。
※ 秒針が2秒間隔で運針した場合は、充電不足の合図です。この状態の連続運転時間は約1日です。
※ この時計は“クイックスタート機能”があります。運針停止状態から1000ルクス以上の光をあてると数秒以内に動き始めます。（目安、蛍光灯30W / 70cm）左記の日付・曜日・時刻の合わせ方をご覧になり合わせてからお使いください。
（※注1 カレンダー付きタイプのご注意）も合わせて参照してください。

自動巻発電機能付き時計 PX82

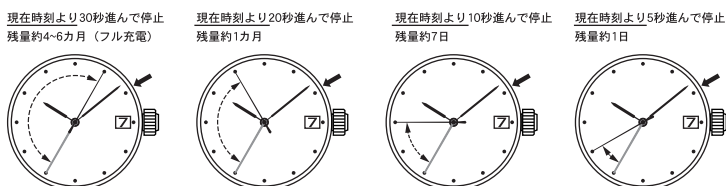
対象モデル SER02 シリーズ

- ◎自動巻発電時計は、腕の動きにより時計内部の回転重が動き電力を発電し、内蔵充電部品に充電する機能があります。
- ◎最大充電した時は約4～6ヶ月間作動します。内蔵充電部品は充電/電気量消費を繰り返す事や経年変化によって性能が劣化します。十分な充電量が得られなくなった時は部品交換等の修理が必要です。

※ お買い上げいただいた時計は静止状態で保管されると充電容量は時計動作に電圧不十分となります。ご使用前に時計を数回振り必要十分な充電を行ってからお使いいただく事をお薦めします。
※ 秒針が2秒間隔で運針した場合は、充電不足の合図です。この状態の連続運転時間は約1日です。すぐに充電することをお薦めします。
※ この時計は“クイックスタート機能”があります。数回振ると通常の動作を開始します。左記の日付・曜日・時刻の合わせ方をご覧になり合わせてからお使いください。（※注1 カレンダー付きタイプのご注意）も合わせて参照してください。

秒針の動きで駆動時間の残量を知ることのできる充電容量インジケーター機能があります。

※ 2時位置のスイッチを押す（フラットスイッチです、先の細いもので押してください）



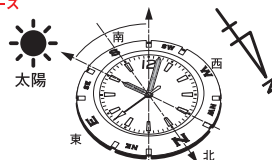
- ※ 早送りで動いた秒針は、実際の時間に追いつくと再度通常の運針をします。
- ※ インジケーター機能は電気の消費が多いので頻繁に使用することはお勧めできません。

簡易方位針ベゼルの操作方法

対象モデル SE46 シリーズ /SE53 シリーズ

- ① 太陽の見える場所で、時計を水平に保ちます。
- ② 時刻が正しく合っている状態で、時計を太陽の方向に向けます。
- ③ ベゼルの回転させて 南 (S) を時計針と12時の中間点に合わせます。
- ④ その状態のベゼルによって簡易的な方角が分かります。

※ 簡易方位針です厳密な方角を出すことは出来ません。
北半球上のみで適用されます。



第二時刻表示モデル タイプの操作方法

※操作は、必ず時計が動いている状態で行ってください。動いていないときはぜんまいを巻き上げてください。

※スクリューロック式リュウズを採用しています、操作前にリュウズのスクリューを回しロックを外してください。

※時刻表示が午後8時から午前4時までの間、日付の早送りで修正をしないでください。

この時間帯に日付を修正しますと、翌日になっても日付が切りかわらないことや、故障の原因となる場合があります。日付の早送りをする際は、該当する時間帯であった場合リュウズを2段引き出してからリュウズを回しその時間帯を避けてください。

※スクリューロックは、操作後必ずロックしてください。ロックが不完全な場合は防水機能が損なわれます。

1：日付を合わせる

日付を早送りで合わせる準備のため、リュウズを2段引き時刻を午前10時頃に合わせリュウズを戻します。

その後、リュウズを1段引き出し反時計回りに回して、前日の日付に早送りします。



2：時刻を合わせる

秒針が「12時」の位置にきたときに、リュウズを2段引き出してください。(秒針が止まります。)

リュウズを針が進む方向に回し日付が今日の日付になるまで進め、現在の時刻に合わせ、時報と同時にリュウズを押し込みます。秒針が動き始めます。



3：24時間針を合わせます。

リュウズを1段引き出します。(秒針は動き続けています。)

リュウズを時計回りに回して、24時間針を早送りし、現在の時刻に合わせてリュウズを押し込みます。

※異なる地域の時刻に合わせることが可能です。

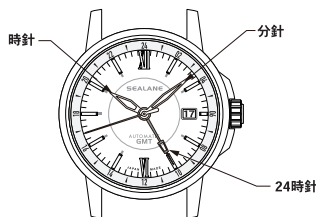


【24時間針の使いかた】

24時間針には以下の2つの使い方があります。

1：午前・午後を区別する(通常の使いかた)

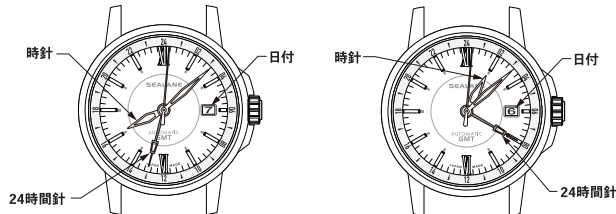
時分針が示す時刻を24時間針が24時間制で表示します。



2：ふたつの異なる地域の時刻を表示させる(デュアルタイムとして使う)

時分針が示す時刻とは異なる地域の時刻を表示できます。

時刻表示の変更は『時刻と日付の合わせかた』を参照してください。



【使用例:1】

時針・日付
第一時刻(東京) 7日8時8分のとき
24時間針
第二時刻(ホノルル: -19時間) 6日13時8分

【使用例:2】

時針・日付:
第一時刻(ホノルル) 6日13時8分のとき
24時間針:
第二時刻(東京: +19時間) 7日8時8分

パワーストレージインジケーター機能付 太陽光発電モデル

この太陽光発電(ソーラー)時計は、ソーラーパネルで光を受けて発電した電力を、内蔵充電部に充電する機能があります。最大充電した時は約5ヶ月間作動します。内蔵充電部は充電/電気量消費を繰り返す事や経時変化によって性能が劣化します。十分な充電量が得られなくなった時は部品交換等の修理が必要です。

《 最大充電約5ヶ月に要する充電時間の目安は下記の通りです。》

- ※ 蛍光灯・・・3,000ルクス : 52 時間
- ※ 自然光(曇天時)・・・10,000ルクス : 16 時間
- ※ 自然光(夏期太陽光直接照射)・・・100,000ルクス : 5.3時間

※ この数値は、時計が2秒間隔で動き始めてから、秒針が1秒間隔で安定するまでに必要な充電時間を表しています。

※ お買い上げいただいた時計は発電しにくい環境で保管されると充電容量は時計動作に電圧不十分となるので、ご使用前に上記の充電時間の目安を参考にし必要十分な充電を行ってからお使いいただく事をお薦めします。

※ 秒針が2秒間隔で運針した場合は、充電不足の合図です。この状態の連続運転時間は約1日です。すぐに充電することをお薦めします。

※ 運針停止状態から1000ルクス以上の光をあてると秒針はすぐに2秒間隔で動き始めますが、2次電池への充電は十分ではありません。時計を光から遠ざけると、動作が停止する場合があります。時計を完全に充電する必要はありませんが、時刻を合わせて袖口などで時計を隠さないでください。

※ 時計を充電する際は、光源に近づけすぎないでください。特に真夏の炎天下にはご注意ください。時計の温度が異常に高くなり、時計内部の部品に変形や損傷の恐れがあります。

1：日付を合わせる

日付を早送りで合わせる準備のため、リュウズを2段引き時刻を午前10時頃に合わせリュウズを戻します。

その後、リュウズを1段引き出し反時計回りに回して、前日の日付に早送りします。



2：時刻を合わせる

秒針が「12時」の位置にきたときに、リュウズを2段引き出してください。(秒針が止まります。)

リュウズを針が進む方向にまわし日付が今日の日付になるまで進め、現在の時刻に合わせ、時報と同時にリュウズを押し込みます。秒針が動き始めます。



バッテリーの充電レベルが分かるインジケーター機能付き(充電状態の目安)

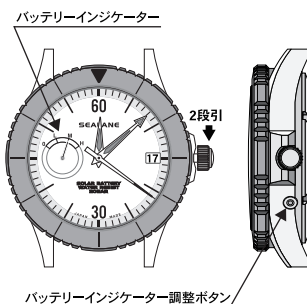
※バッテリーインジケーター針は常に充電レベルを表示しています

	Low	Middle	High
充電警告	30日以内	30-90日以内	90日以上

バッテリーインジケーター針が正しい位置からずれている場合の調整方法

通常のご使用でバッテリーインジケーター針がずれることはありませんが、まれに適正位置からずれてしまう場合があります。

この針がレベルの正しい位置から外れている場合は、以下の手順に従って修正してください。



- (1) リュウズを 2 段目の位置まで引き出します。
- (2) 4時位置の調整ボタンを1回押します。
バッテリーインジケーター針が、ずれた「0」位置に反時計回りに移動します。図1
- (3) 再度4時位置のボタンを押して、バッテリーインジケーター針を正しい「0」の位置にします。図2
バッテリーインジケーター針が時計回りに移動します。ボタンを長押しすると、バッテリーインジケーター針が早送りされボタンを放すと、停止します。
- (4) リュウズを通常の位置に戻します。
バッテリーインジケーター針が現在の充電レベルを示します。図3

